

3Dスキャン

- 3次元レーザー計測技術 -



HandySCAN



Focus3D

3Dスキャンとは物体を3次元のデジタルデータとして取り込む技術のことです。対象物の表面を3次元の座標データ(X, Y, Z)で取得し、利用目的に応じて様々な計測結果を得ることが可能です。

当社では高精度&高解像度の3Dデータが取得できる『HandySCAN』と、最大130mの広範囲の計測に対応する『Focus3D』の2機種を所有しており、あらゆる対象物の3次元データを採取することができます。

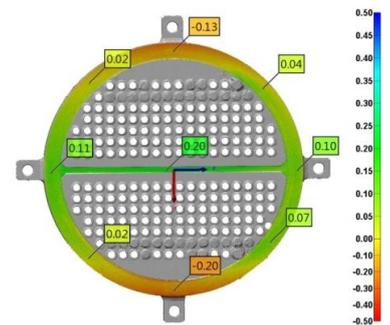
特長

HandySCAN

- 近距離スキャンに使用
- 高精度 (最大0.03 mm)
- 高解像度 (最小0.05 mm)
- 容積精度 (0.02 mm+0.06 mm/m)

Focus3D

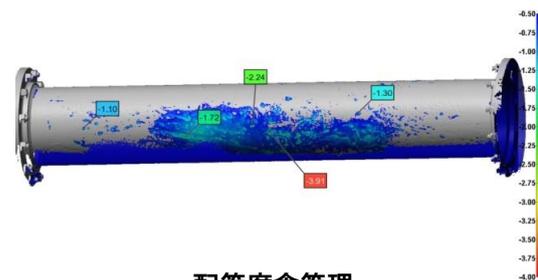
- 主に中・遠距離スキャンに使用
- 範囲誤差 ± 2 mm(10m~25m範囲)
- 広範囲のスキャンが可能 (半径 0.6 m~130 m)



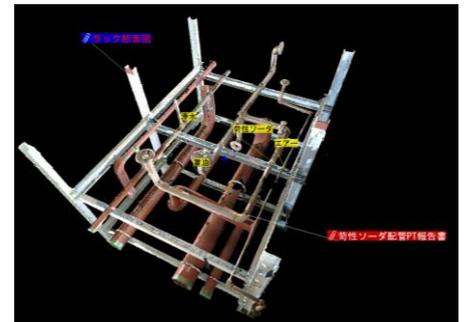
熱交換器 シート面歪み測定

適用実績

- シート面歪み測定
 - 配管、機器腐食管理
 - 回転機摩耗管理
 - 機器倒れ、歪み、真円度等の寸法測定
 - プラント3Dモデル化
- etc.



配管腐食管理



3Dモデル化